

学研高山地区ゲートエリア まちづくり協議会ニュース

第5・6号合併号 令和7年10月

第5回・第6回役員会を開催しました。

学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会第5回・第6回役員会を開催し、意向調査結果・基本構想概要(案)について意見交換し、基本構想(案)とまちづくりテーマをまとめました。また、事務局から、「市が実施する環境調査について」、「環境団体から提出のあった、自然環境の保護保全に関する要請書について」の報告がありました。

第5回役員会 開催概要

日 時：令和7年8月1日(金)10時～

場 所：北コミュニティセンター セミナー室304

内 容：1. 意向調査結果(速報)について
2. 基本構想概要(案)について
3. まちづくりニュースについて

出席者：今井 正徳、久保 幸作、柴田 敏男、白川 久一、
田中 彰、松山 治幸、村田 卓司、吉岡 正純、
素盞鳴神社、生駒市(都市整備部次長 有山将人)
※敬称略・順不同

事務局：生駒市都市整備部学研推進課、日本都市技術(株)

第6回役員会 開催概要

日 時：令和7年9月19日(金)10時～

場 所：北コミュニティセンター セミナー室305

内 容：1. 意向調査結果について
2. 基本構想概要(案)について
3. まちづくりニュースについて

出席者：今井 正徳、久保 幸作、柴田 敏男、白川 久一、
松山 治幸、村田 卓司、吉岡 正純、素盞鳴神社、
生駒市(都市整備部次長 有山将人)
※敬称略・順不同

事務局：生駒市都市整備部学研推進課、日本都市技術(株)

意向調査集計結果 最終版

意向調査は、土地利用に係る現時点でのお考えをお聞かせいただき、まちづくりの計画を具体化していくための基礎資料にすることを目的に実施しました。

第5回役員会では速報値、第6回役員会では最終結果について意見交換を行いました。



第5回役員会の様子

〈回収状況〉	対象者(人)	回答(人)	未回答(人)
	113	90	23
	回収率	79.6%	

～アンケート結果の概要～

- ・約8割の地権者の方から回答
- ・所有されている土地の場所を把握していない方が2割以上
- ・現在、ゲートエリア内の土地で耕作をしている方は1割程度
- ・将来、自己活用を考えておられる方は3割程度
- ・土地の売却・土地を貸したいと考えている方は5割以上
- ・現時点では将来の土地活用については考えていないので回答できないという意見もあり

⇒今後の事業進捗に合わせて、改めて意向を確認する機会を設ける予定

集計結果については最終ページに記載しています。

学研高山地区ゲートエリアまちづくり基本構想(案)

多様な学びと交流の出発点／最先端テクノロジーによるイノベーション拠点 -学研高山ゲートウェイ-

令和7年9月19日時点

第3～6回役員会での意見交換の内容と学研高山地区第2工区事業推進会議※1での意見を反映させ、ゲートエリアの目指すまちづくりの内容を基本構想(案)としてまとめました。

ゲートエリアは、奈良先端大のある第1工区と隣接し、学研都市連絡道路(国道163号バイパス)と高山南北線が交差する学研高山地区の玄関口(学研高山ゲートウェイ)としての優れた立地を活かし、地域住民や未来の技術者を育む多様な学びや、周辺地域を含む交流の「出発点」となり、奈良先端大をはじめとする研究機関の成果を実装し、最先端テクノロジーによるイノベーションの創出が期待されるエリアとして、基本構想(案)をまとめました。

※1 事業推進会議は、奈良県や関西文化学術研究都市推進機構などの関係行政機関や学識経験者等で構成され、学研高山地区第2工区マスタープランに基づき、事業を推進するため、意見や助言をいただくものです。

交流・発信ゾーン[高山ゲートウェイ]

[目指す空間像]

- ◆ 学研高山地区の玄関口にふさわしい交流と賑わいが生まれる機能と場の集積
- ◆ 学研都市にふさわしい次世代交通システム実装による移動手段の高度化に資する空間整備
- ◆ 地域の魅力や歴史・文化・伝統・アート、先端大等の研究成果の情報発信基地
- ◆ 公園・緑地・調整池等におけるグリーンインフラの創出

[導入が望まれる機能]

- ・ 交流・発信施設
- ・ 多機能調整池
- ・ ウェルビーイングに資する施設
- ・ 地域住民の学びにつながる場
- ・ 次世代移動システム



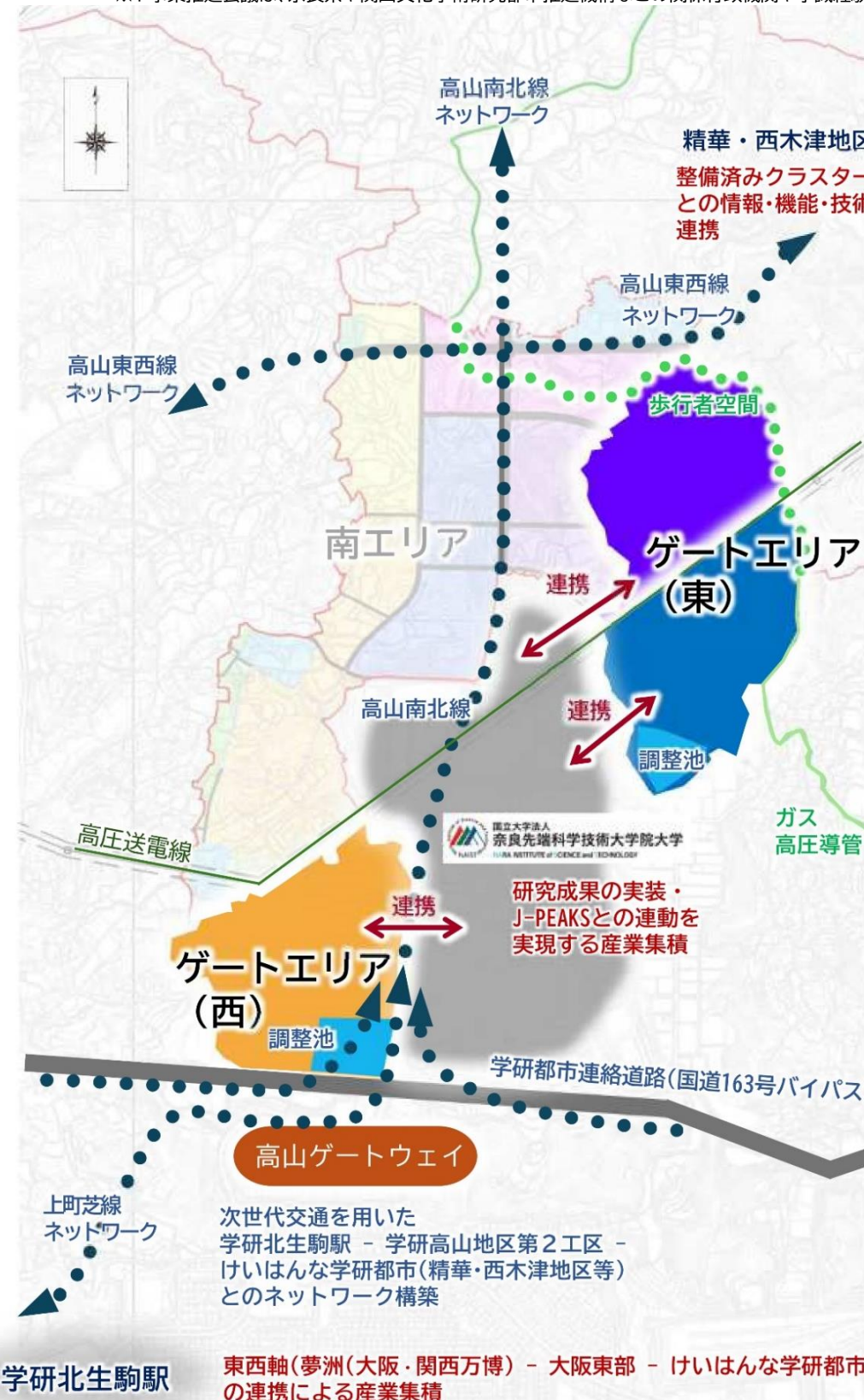
イメージ シーパルピア女川
出典：女川町HP



イメージ 岸和田市道の駅「愛彩ランド」(修景型調整池)
出典：岸和田市HP



イメージ 規制・制度改革とデータ連携を一体的に進め、先端的サービスを実装「つくば市スーパーサイエンスシティ」
出典：地方創生2.0好事例



都市型産業ゾーン

[目指す空間像]

- ◆ 文化・学術・研究成果を活かす産業施設・生産施設の集積
- ◆ 研究成果の社会実装に向けた施設の集積
- ◆ デジタル・AI等の新技術を活用した施設の集積
- ◆ GX・DXを活用した産業構造に向けたワット・ビット連携等による新時代の面的インフラ整備

[導入が望まれる機能]

- ・ 研究開発型産業
- ・ 高付加価値なデータセンター



イメージ 生産管理におけるAI活用事例
出典：NTT東日本HP



イメージ データセンターを核とした周辺への企業・人材の集積
出典：北海道HP

文化学術研究ゾーン

[目指す空間像]

- ◆ 技術者の育成を図ることを目的とした施設やスタートアップ企業・研究所・人材の集積
- ◆ 産学官金の連携による研究成果を活かした文化学術研究施設
- ◆ 先端大研究分野(情報科学領域・バイオサイエンス領域・物質創成科学領域)の関連企業の集積
- ◆ 先端大を中心とした教育機関との連携の施設

[導入が望まれる機能]

- ・ 高専や先端大に関連する教育施設
- ・ 産学官金連携施設
- ・ 先端大連携研究施設
- ・ 首都機能のバックアップ施設



イメージ スタートアップ支援拠点 STATION Ai
出典：愛知県HP



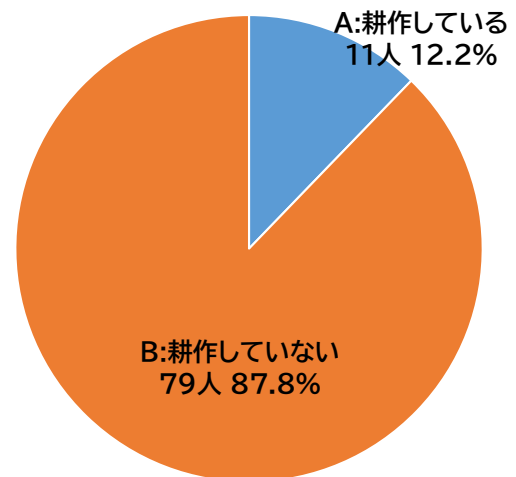
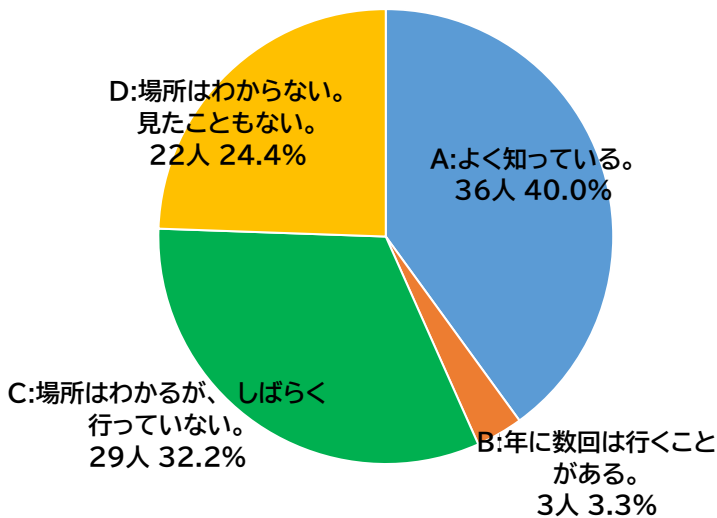
イメージ つくば物質材料研究機構
出典：国立研究開発法人物質材料研究機構HP

※基本構想(案)の内容はイメージであり確定したものではありません。今後の社会潮流や上位計画の変更等により適宜、見直していきます。また、住宅用地や農地等については、適宜、計画に反映していきます。

意向調査結果 ～アンケート結果 集計～ 最終版

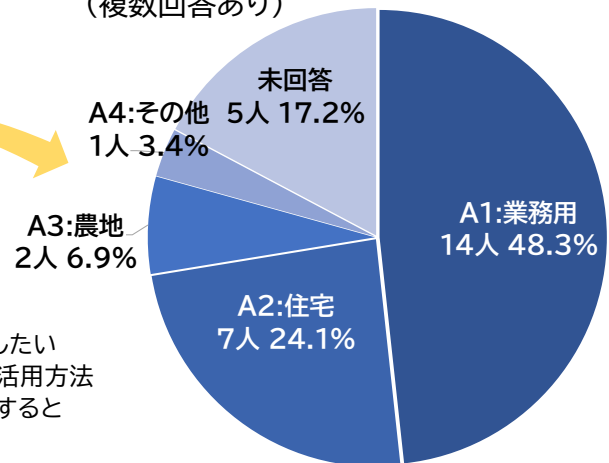
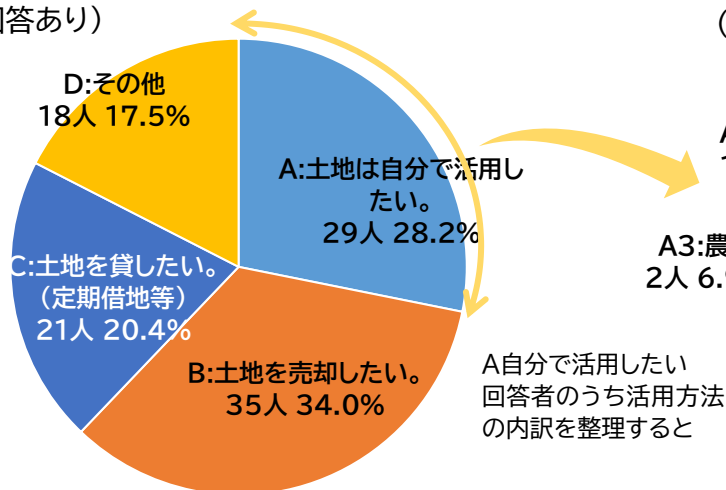
問1.お持ちの土地の状況はご存じですか。

問2.お持ちの土地で耕作はされていますか。



問3.将来(事業後)の土地の活用はどうされますか。
(複数回答あり)

問3-A.どのように活用したいですか。
(複数回答あり)



今回の意向調査は、約 8 割の地権者の方に回答して頂きました。
ご協力ありがとうございました。



～ 事務局から皆様へ ～

※自身の所有する土地の場所がわからない方は、事務局までお越しいただければ、地図上で確認をしていただけますので、お問い合わせください。※免許証等で本人確認させていただきます。

△ お 願 い △

次のような場合は、下記事務局までご連絡ください。
・ご自身のお土地のことや土地区画整理事業について知りたい場合
・土地の売買や相続等による権利変動が生じた場合
・お引越しによる住所変更など連絡先に変更が生じた場合
・婚姻などにより氏名等に変更が生じた場合

◎ 加入者募集中 ◎

現在も引き続きまちづくり協議会への加入を募っておりますので事務局までご連絡ください。
まちづくり協議会の詳細につきましては下記 URL をご覧ください。

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000036720.html>

発 行：学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会

事務局：生駒市都市整備部学研推進課内

電 話：0743-74-1111(内線 3860)FAX:0743-74-9100

E-mail:gakken@city.ikoma.lg.jp

